

令和 6 年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立橋本高等学校	校長名： 田中 克介
-----------------	------------

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）
1 幅広い知識と豊かな思考により、課題に対する適切な判断力と柔軟な対応力を身に付ける。また、自らの探究により獲得した情報を論理的に伝達する表現力と発信力を身に付ける。
2 自己の在り方生き方を考え、自ら学び続ける姿勢を身に付ける。
3 他者を尊重する心を持ち、多様な人と取り組む協働性と実践的なコミュニケーション能力を身に付け、グローバルな視点に立ち、持続可能な社会を創出していく姿勢を身につけている。

学校評価の公表方法
ホームページを利用して公表する。

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）							
番号	計画・取組				評価（3月5日現在）		
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	確かな学力の定着とともに新しい時代に必要となる資質・能力の向上を図るため、自ら考え、自ら学ぶ主体的な学習態度と協働性が身につけられるよう授業改善を行う。	B	I C Tを効果的に活用するとともに、主体的な学びの実現に向けた授業改善に取り組む。	興味関心を高める工夫と学習活動の振り返りを図る授業改善ができたか。	A	多くの教員が効果的に I C T機器を活用し、主体的な学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいる。	・ I C T機器の有効な活用方法の促進を進めているがまだまだ改良の余地がある。また生成A I の活用についても検討が必要である。また、生徒同士が協働しコミュニケーション能力を高めていく、より効果的な指導方法を模索する。
			普通科改革支援事業を軸に、グループでの探究活動やプレゼンテーションを重視した学習活動に取り組む。	生徒が協働して取り組み、成果を挙げることができたか。	A	対話し協働して取り組む機会が増え、プレゼンテーション能力も向上した。創世の翼の校内発表会においても年々レベルアップが見られる。	
			教員の指導力向上を目指し、校内研修、授業研究、校内公開授業、を実施する。	効果的な校内研修を数回、公開授業を全教員が年1回以上実施できたか。	B	大半の教員が年1回の校内公開授業を実施することができた。また、中堅教諭が自主的に研修会を開催する姿が見られた。	
2	コミュニティスクールとして、地域と連携した活動を積極的に取り入れ、国際理解教育やふるさと教育、SDG s等の系統的な学習活動に取り組み、生徒の実践力を向上させる。	B	SDG sの目標に沿った様々な活動に積極的に参加する機会を充実させ、課題解決型学習を行う。	自ら課題を発見し、SDG sの目標を達成するための方法を考え表現できたか。	A	SDG sの目標と照らし合わせて課題を模索・選択し、外部評価者の意見も取り入れながら、自ら設定したテーマについてより深く探究する授業が実践できた。	・「創世の翼」「世紀の空」の時間を中心に、身の回りの課題をSDG sの視点から考察する機会を設定し、探究することができた。今後は、生徒が主体となって探究活動を深めることができるよう教員の伴走方法の研究を進めることが必要である。 ・ボランティア活動の場を積極的に広報し、参加を促していきたい。
			ユネスコスクールとして、海外の高校生との交流を通じてグローバルな視野を育成する。	海外の高校生との交流活動等に取り組む、学習テーマを深めることができたか。	A	普通科改革支援事業を中心に、県外、海外の高校生との交流活動等の機会を増やすことができた。	
			地域活動・ボランティア活動に積極的に参加する機会を充実させる。	生徒が積極的に参加することができたか。	B	探究活動やクラブ活動を中心に、ボランティア活動にも多くの生徒が取り組めた。	
3	教科横断的な探究学習を通じて、他府県の高校生、大学・企業等の関係機関と意見交換を行い、プレゼンテーション能力の向上を図るとともに、海外の高校生と交流等を行うことで、国際的なコミュニケーション能力を高める。	B	幅広い知識と豊かな思考を育むため「世紀の空」「創世の翼」を軸に、教科横断的な探究型学習に取り組む。	探究型学習が単なる調べ学習とならないよう、成果発表会の実施及び研究内容のチェックができているか。	B	探究学習において、地域の小学校や公民館、をはじめ、校外との意見交換やプレゼンテーションの機会を増やすことができた。	・普通科改革支援事業を実施していることや姉妹校提携していることもあり、海外ではフィンランドや中国等、国内では北海道の高等学校、諸団体との意見交換やプレゼンテーションの機会を複数回持つことができた。次年度は、普通科改革支援事業自体は終了するが、創意工夫して、より一層交流活動を充実させていきたい。
			課題を見だし、校外との意見交換やプレゼンテーションを行う機会を充実させる。	校外との意見交換やプレゼンテーションの機会を何度持つことができたか。	B	橋本市商工会議所や橋本市国際親善協会の方々にプレゼンテーションを行ったり、和歌山大学、大阪観光大学の留学生との交流の機会を持つことができた。	
			校内、国内での実践発表を繰り返した上で、海外との交流等を実施する。	海外との交流等の機会を複数回持つことができたか。	A	フィンランド、香港、中国、マレーシア、オーストラリア、台湾の学生等との交流の機会を複数回持つことができた。	

学校関係者評価 （12月27日実施）
・3年間親子共々楽しく過ごすことができました。特に体育祭は見ているこちらまで楽しくなる素晴らしいイベントだったと思います。これからも橋本高校の更なる発展を期待しております。
・先生方には大変お世話になり、感謝の気持ちで一杯です。いつも子どもの可能性に目を向けてくださり、進路について相談にのっていただきました。全力で応援してくださると話して下さったことが心強く、親子共々受験を乗り越えることが出来ました。
・ホームページには結果を残していない部活も取り上げてあげてほしいです。「橋高にはこんなにたくさんの楽しい部活があるんだ」と知ってもらえる、いいきっかけにもなると思います。あと最近はあまり更新されず残念です。
・子供は、毎日の学校を本当に楽しみ、沢山の希望を持って、総合探究や海外交流をはじめ校外活動にも色々チャレンジしています。このように、多様なことに目を向けて生き生きと楽しんでいるのは学校の御陰と感謝しています。保護者として、この良き経験を将来につなげていけるように支えて行きたいと思っています。本人も先輩として次の世代に繋げていく責任を感じているようです。
・インターンとしてでも社会経験をする機会があれば良いと思います。一定の期間など続けて体験し単位も取れると良いと思います。
・勉強だけで終わらない高校時代を楽しんでほしいです。
・トイレの環境改善とW i f i 電波の環境改善が必要だと思います。